

高萩地区住民自治協議会だより

第29号
2026(令和8)年3月1日発行
広報お知らせ実行委員会

令和7年度を振り返って



高萩地区住民自治協議会長
飯田好秋さん

【会長あいさつ】

皆様のご協力のおかげで、普通救命講習会・交流イベント(芋煮会)・健康ウォーキング・グラウンドゴルフ大会などの行事を無事行うことができました。多くの笑顔に触れ、地域住民の繋がりを確認できたことが何よりの成果だと思っております。

当会への若年層の参加者を期待しつつ、後任へと活動を引き継ぎます。皆様のご意見を頂戴しながら活動してまいりますので、これからもご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
(会長 飯田好秋)

普通救命講習会 9月28日 高萩コミュニティセンター



4グループに分かれて実習



掌にしっかり体重をかけて

栗源分遣所の方々からは助ける力、防災センターでは生き残る知恵を学ぶ良い機会となりました。心肺蘇生法や消火器の使用法を実際に行って納得・安心です。

防災体験学習会 10月12日 千葉県西部防災センター



消火器を手に取って体験



地域交流イベント 芋煮会と健康ウォーキング

10月19日



高萩福祉センターから受所方面へウォーキング



受所神社に立ち寄って

健康ウォーキング

受所方面への約4kmの健康ウォーキングでは、バッタやカマキリを見つけ、子どもたちが胸や肩に留まらせて一緒に歩きました。長い残暑が続いた後の短い秋を惜しみながらの、のんびりとした散策となりました。

受所神社を初めて訪れた人も多く、石碑を熟読したり手を合わせてそっと一礼したりする姿が見られました。



テーブルを囲んで芋煮をいただきます↑



芸座の大漁節で踊りの輪ができました



芋煮、おかわりします

体育館の中に移動し、芋煮の完成を待つ間にボッチャを体験しました。ボッチャはお年寄りも子供も、障害を持つ方でも楽しめる球技です。小学生や高齢者クラブの方々が3人ずつのグループになって参加しました。

今年の芋煮は受所のご婦人方中心に、味見を慎重に繰り返しながらおいしく作ってくださいました。もちろん、ブランド肉や里芋・大根・ネギ・人参などの地元野菜がたっぷり入っています。

食後、中峰芸座保存会の皆さんによる「大漁節」に、自然と体が動きます。最後はビンゴ大会で盛り上がりました。

高齢者交流事業 グラウンドゴルフ大会 11月1日(土)



栗源多目的芝生広場に集合



グループごとにコースをまわる

好天に恵まれ、民生・児童委員さんら役員その他「マイスティック」持参で高萩・上の台・受所・中峰高齢者クラブから多くの方々（総勢35名）が参加しました。

皆さんは2周目になってもスタスタ歩く健脚ぶりで、好スコア続出、5名がホールインワンを達成しました。

高齢者ふれあい集会 1月18日 テラスサンサン



孫のような人形が笑いを誘う腹話術



お弁当を食べながらダンスを観賞

社会福祉協会主催（高萩地区住民自治協議会共催）のふれあい集会には高萩地区にお住いの70歳以上の方々が大勢集いました。

出演者やスタッフを加えると100名を超え、落語と腹話術を皮切りにステージ上では次々と芸座やピアダンス・フラダンス・安来節・カラオケなどの演目が繰り広げられました。丸々太った鯛焼きやお饅頭などのお菓子にみかん、抽選会でもらった景品をお土産に、笑顔で帰途に就く皆さんでした。また来年、元気でお目にかかりましょう。

高萩地区のスローガンは

～みんなで作る 活力ある ふるさと高萩～

伝統芸能継承活動

～中峰地区芸座保存会の皆さん～

毎週土曜日の夜7時をまわると、中峰地区センターから軽やかな太鼓のリズムに乗って、懐かしい笛の音が流れてきます



芋煮会での演奏



夜間の練習

人が減り各地区でのお祭りなどが少なくなっていく中でも、伝統芸能の灯を絶やすまいと活動を続けられている中峰芸座の皆さんです。

現在10名余りが在籍しています。必要最小限の人数のため、誰かが参加できないと大変です、いつまで活動を維持していけるか、不安もあります。それでも、今はやれるだけ続けていこうと、毎週土曜日の練習を欠かさず行っています。

芸座には楽譜がないそうです。耳で聴いた曲を覚え、それをまた次代へと受け継いでいく人が必要です。

未来に残したい日本のすばらしいものの一つである芸座。どう守るべきか、考えるだけでなく行動すべき時がきているといえるでしょう。

【四月からの主な行事予定】

○令和8年度定期総会4月26日（日）

○5月から環境整備活動ごみゼロ運動

※ 総会で決定後、令和8年度も引き続き防災防犯対策や高齢者見守り事業を行っていきます。



【R7年度の総会の様子】

これからの高萩地区住民自治協議会

高萩地区住民自治協議会は2年前、行政から私たち住民の手に運営を任せられ、手探りしながら多くの方々の協力を得て活動してきました。会長・副会長・会計の5名は2年間の役員任期満了を迎えます。次年度から新たな体制で「本当の自治」の存続・発展に向かって3年目の活動に入るともいえます。

「情報くりもと」が3月号をもって終了するというまことに寂しい知らせがありました。他に例をみない、地域に根ざした素晴らしい情報誌をこれまで作り続けたスタッフの皆様のご苦勞に、改めて敬意を表します。掲載された写真と記事のおかげで、なかなか会えなくなった旧知の方々の近況を知ることができました。私たちは微力ながら地域住民をつなぐ力となれるよう努めて参ります。今後も一層のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。